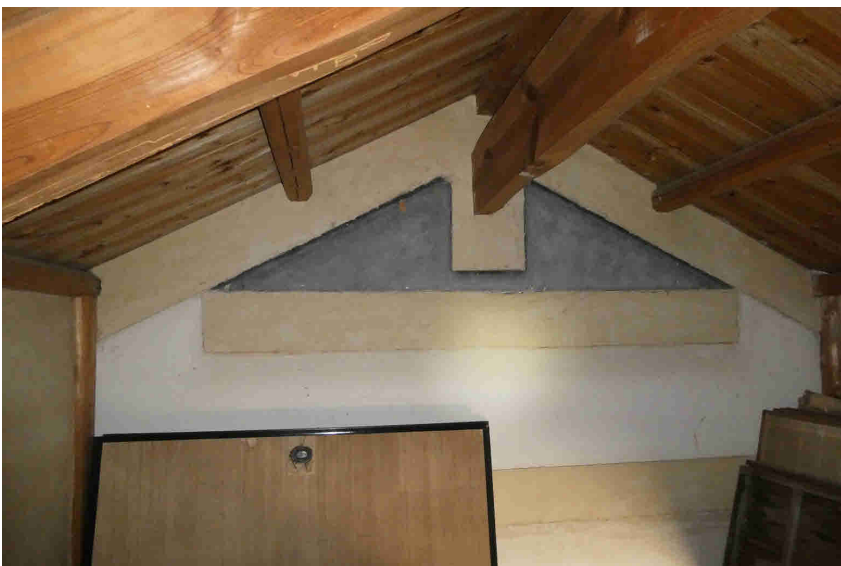


	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別	種別	基準
266	旧森田家住宅主屋	高知県香南市	M後期	高知平野東部の農村集落に位置する郷土格の旧家の屋敷。主屋の北西に土蔵を配し、敷地南辺に表門と脇門を建て、敷地内に塀重門と土塀を配す。主屋は南面中央に入母屋屋根を重ねた式台玄関を突出。座敷境に大振りな欄間彫刻を飾り、縁側下屋に丸太の化粧桁を用いるなど豪壮なつくり。家財蔵の土蔵は水切瓦を廻して上部に鉢巻を付し、地域性豊かな土蔵。表門は屋根は起りのある薬医門で木太く豪壮な門。塀重門は小規模な一間一戸の棟門。脇門は薬医門で、木柄細く全体に簡易な門。土塀は式台玄関の東西脇に廻り、全体で枳形状経路をつくり武家風の構えを形成する。	住宅	建築物	2
267	旧森田家住宅土蔵		M後期／T後期増築		住宅	建築物	1
268	旧森田家住宅表門		M後期		住宅	工作物	1
269	旧森田家住宅塀重門		M後期		住宅	工作物	1
270	旧森田家住宅脇門		M後期		住宅	工作物	1
271	旧森田家住宅土塀		M後期		住宅	工作物	1
272	八名(やな)家住宅(旧庄野家住宅)主屋	福岡県北九州市	T12頃	門司駅東方の住宅地に位置する退役海軍少佐の住宅の主屋と離れ。主屋は和洋折衷住宅で、洋室の外壁は下見板張りで内部は蛇腹付の漆喰天井に中心飾を備えた本格的なもの。離れは繊細な組子を用いた欄間や付書院など洗練されたつくり。	住宅	建築物	2
273	八名家住宅(旧庄野家住宅)離れ		T12頃		住宅	建築物	2
274	河野(かわの)家住宅(旧池本家住宅)主屋		M前期／S52・H31改修	槻田川(つきだがわ)上流の農村集落に位置する農家の主屋。三本溝の敷鴨居や簀子天井など古式を残す。大きな茅葺屋根が地域の歴史的景観をつくる。	住宅	建築物	1
275	旧國武合名会社綿糸部店舗及び倉庫	福岡県久留米市	T11／S前期、H27改修	久留米旧城下に位置する久留米緋製造販売業の旧店舗及び倉庫と倉庫。大正11年建築の旧店舗は角地に建ち北に昭和前期改修の倉庫を接続する。旧店舗は腕木を重ねた出桁(だしげた)庇を廻らす豪壮な外観とし、旧倉庫は西妻に社標を掲げてアクセントとする。旧商品庫の倉庫は鉾葺煉瓦を用いた木骨煉瓦造。正面アーチに社標を掲げ、地域の歴史的景観をつくる。	産業2次	建築物	1
276	旧國武合名会社倉庫		M後期		産業2次	建築物	1
277	九州建具木工所倉庫	福岡県大川市	S31／H元頃改修	筑後川河口の大川に位置する木工所の倉庫。正面は前面に迫出しパラペットを立上げる。モダンな外観が戦後の木工業の繁栄を物語る。	産業2次	建築物	1
278	観世音寺宝蔵	福岡県太宰府市	S34／S36・H21改修	大宰府政庁跡に近い観世音寺境内に建つ文化財収蔵展示施設。設計は伊藤要太郎。防湿・防熱効果を高めるためピロティと二重壁を採用した鉄筋コンクリート造建築。端正かつ優美な戦後の和風建築。	宗教	建築物	2
279	旧松野家住宅(野口家住宅)主屋	佐賀県佐賀市	M42頃	佐賀市街地北方の和紙産地の名尾に位置する地主の屋敷。敷地内に主屋、小屋、取水池、これらを囲う門柱と石垣を配する。主屋は入母屋造り屋根を直交し、全体に矩折れの平面とする。式台や拭漆塗仕上とした仏間など、随所に家格を示す設えを備える。小屋は座敷と物置からなる建物で、座敷は青年組の宿にも利用するなど当地域の習俗を示す上でも貴重。石垣は出隅部を鎬積とし、石垣との取合や端部の納まりなど取水池も、石材加工技術の高さを示す。	住宅	建築物	2
280	旧松野家住宅(野口家住宅)小屋		M前期		住宅	建築物	2
281	旧松野家住宅(野口家住宅)門柱及び石垣		T前期		住宅	工作物	1
282	旧松野家住宅(野口家住宅)取水池		T前期／S40頃改修		住宅	工作物	3
283	堤内家住宅主屋	長崎県島原市	T後期	島原城跡三の丸南東部に位置する住宅の主屋と門及び石塀。主屋は東南庭に面して部屋を雁行して並べて縁を廻らす。座敷の書院は組子を用いた繊細なつくり。門は表面は粗い割石仕上。石塀は江戸後期の建築。出隅に反りを付け通りに面し旧城下の歴史的景観をつくる。	住宅	建築物	1
284	堤内家住宅門及び石塀		E後期／T後期		住宅	工作物	1
285	商工クラブ店舗	熊本県熊本市	M23／R2改修	熊本城跡の南西の市街地に位置する料亭。入母屋造り玄関を付し、二階は連窓前面に手擦を廻らし窓上に庇を付す。近代の熊本城下の賑わいを伝える料亭。	産業3次	建築物	1
286	長谷川家住宅主屋	熊本県宇城市	M16／T8・S2頃増築、同50頃改修	砂川右岸に位置し製糸業を営んだ商家の主屋。かつては一階西下手の板間を荷造所、二階を女子寮として使用し、地域の製糸業の歴史を伝える。	産業2次	建築物	1
287	沖縄ホテル旅館棟	沖縄県那覇市	S36／H5改修	安里(あさと)駅北東の市街地に位置する昭和戦前から続くホテル。敷地内にレンガ棟、旅館棟を配し、大道門を道から引き込んで建て、敷地周囲に瓦石垣を巡らす。いずれも設計は仲座久雄。旅館棟は窓に庇を廻らし、中空ブロックで飾った壁面やバルコニーなど、仲座らしい特徴を示す。レンガ棟は一階は鉄筋コンクリート造で、煉瓦積を化粧で現し、二階は煉瓦造とした混構造。戦後沖縄におけるホテル発祥の遺例として希少。大道門は一間腕木門形式で鉄筋コンクリート造。沖縄の伝統建築の意匠で、戦後沖縄を代表するホテル入口を飾る。瓦石垣はコンクリート造壁体に琉球石灰岩を積み、屋根は琉球赤瓦で葺く。ホテルの表構えを整える。	産業3次	建築物	2
288	沖縄ホテルレンガ棟		S24頃		産業3次	建築物	3
289	沖縄ホテル大道門		S36		産業3次	工作物	1
290	沖縄ホテル瓦石垣		S36		産業3次	工作物	1

備考 (調査等)	特徴・評価	登録基準	建設年代等	所在地	名称
<p>建築年代は記録（昭和前期）と材の経年感より推定。座敷部は南国市岩村の武家住宅からの移築と伝える。森田家は幕末に郷土格を得た家柄。精神科医森田正馬の生家で現在活用を検討中。</p>	<p>高知平野東部の農村集落に位置する旧家の主屋。南面中央に入母屋屋根を重ねた式台玄関を突出。西は田の字に部屋を配し、東は座敷で部屋境に大振りな欄間彫刻を飾り、縁側下屋に丸太の化粧桁を用いるなど豪壮なつくり。武家由来の格式を備えた近代和風住宅。</p>	<p>二 造形の規範となっているもの</p>	<p>明治後期</p>	<p>高知県香南市野市町兎田字小林谷四八二一他</p>	<p>旧森田家住宅主屋</p>



備考 (調査等)	特徴・評価	登録基準	建設年代等	所在地	名称
<p>建築年代は記録（昭和前期）と材の経年感より推定。大正後期に南半を増築。森田家は幕末に郷土格を得た家柄。精神科医森田正馬の生家で現在活用を検討中。</p>	<p>主屋の西側に東面して建つ家財蔵。二階建て置屋根は切妻造棧瓦葺とする。漆喰塗仕上の外壁は土台を塗込めずに現しとし、水切瓦を廻して上部に鉢巻を付す。建築後まもなく南半を増築し、内部は各階二室に分ける。屋根に左棧瓦を用いるなど地域性豊かな土蔵。</p>	<p>一 国土の歴史的景観に寄与しているもの</p>	<p>明治後期／大正後期増築</p>	<p>高知県香南市野市町兎田字小林谷四八二一他</p>	<p>旧森田家住宅土蔵</p>



備考 (調査等)	特徴・評価	登録基準	建設年代等	所在地	名称
<p>建築年代は記録（昭和前期）と材の経年感による推定。森田家は幕末に郷土格を得た家柄。精神科医森田正馬の生家で現在活用を検討中。</p>	<p>敷地南面の東寄りに建つ表門。一間一戸の薬医門で南北に袖塀を付す。屋根は起りのある切妻造棧瓦葺とす。主要部材は木太く豪壮なつくりで、控柱は腰貫で固め、門口に両開戸を吊る。通りに面して建ち、西に続く土塀とともに地域の歴史的な景観を構成する。</p>	<p>一 国土の歴史的景観に寄与しているもの</p>	<p>明治後期</p>	<p>高知県香南市野市町兎田字小林谷四八二一他</p>	<p>旧森田家住宅表門</p>



備考 (調査等)	特徴・評価	登録基準	建設年代等	所在地	名称
<p>建築年代は記録（昭和前期）と材の経年感による推定。森田家は幕末に郷土格を得た家柄。精神科医森田正馬の生家で現在活用を検討中。</p>	<p>主屋の式台玄関の南東に位置し、東に広がる庭園の出入口となる門。小規模な一間一戸の棟門で、屋根は起りのある切妻造銅板葺とする。柱間の南側を板張とし、北側に片引戸を建てる。表門から主屋の式台玄関へ至る柵形状の経路に建ち、敷地景観を形成する。</p>	<p>一 国土の歴史的景観に寄与しているもの</p>	<p>明治後期</p>	<p>高知県香南市野市町兎田字小林谷四八二一他</p>	<p>旧森田家住宅塀重門</p>



備考 (調査等)	特徴・評価	登録基準	建設年代等	所在地	名称
<p>建築年代は記録（昭和前期）と材の経年感による推定。森田家は幕末に郷土格を得た家柄。精神科医森田正馬の生家で現在活用を検討中。</p>	<p>敷地南面の西寄りに建つ一間一戸の薬医門。屋根は切妻造椽瓦葺とする。柱間は西側を縦板張とし、東側は引戸の格子戸を建てる。通りから主屋の内玄関へと至る門で、木柄細く全体に簡易なつくりながらも、表門、土塀とともに、屋敷南側の景観を形成する。</p>	<p>一 国土の歴史的景観に寄与しているもの</p>	<p>明治後期</p>	<p>高知県香南市野市町兎田字小林谷四八二一他</p>	<p>旧森田家住宅脇門</p>



備考 (調査等)	特徴・評価	登録基準	建設年代等	所在地	名称
<p>建築年代は記録（昭和前期）と形式手法より推定。森田家は幕末に郷土格を得た家柄。精神科医森田正馬の生家で現在活用を検討中。</p>	<p>表門の西側から主屋の式台玄関の東西脇に廻り、全体で枡形状経路をつくる総延長二〇メートルの塀。大きな自然石を用いた豪壮な石組に土塀を建て、屋根は棧瓦葺とする。外壁は旧は漆喰仕上。主屋玄関廻りに表門、脇門、塀重門と一体で武家風の構えを形成する。</p>	<p>一 国土の歴史的景観に寄与しているもの</p>	<p>明治後期</p>	<p>高知県香南市野市町兔田字小林谷四八二一他</p>	<p>旧森田家住宅土塀</p>

